

法人本部

新型コロナウイルス感染症第 5 類への移行や急激な物価高騰、診療・介護・障害福祉サービス報酬改定と事業環境は大きく変化している。2024 年度は医療と福祉の連携強化、聖隷 DX の更なる推進、人材の確保等に取り組む、直面する課題やニーズに着実に対応する。総務では稟議書の申請・管理業務の電子化、次期人事・給与システムの更新の検討開始、情報システムではインターネット環境の更新、情報セキュリティの強化をする。また、2023 年に導入した SEIREI アプリの普及を更に促進する。採用競争力の強化と多様な人材が働きやすく活躍できる環境を再構築する。大規模法人の強みを生かす為ブランディング施策の強化やコンプライアンスの徹底を行う。事業部・施設への支援体制強化としてシェアードサービスセンターの施設管理業務の拡充、投資計画（建替え、大規模修繕）の策定を行う。内部監査での精度向上に努める。「聖隷みらい創造プロジェクト」は継続し 2030 年のあるべき姿の実現の為の準備を進める。

1. 社会福祉法人として最高の質を追求した事業を展開する
2. 人材の確保と育成を推進する
3. 大規模広域法人としての強みを活かした仕組化を推進する
4. 聖隷 DX（デジタルトランスフォーメーション）を推進する
5. ディーセント・ワーク（人生と両立できる働きがいのある仕事）を推進する
6. 現有資源を有効に活用し経営環境の急変にも揺るがない財務体質とする

各部は、次の年度事業目標（重点施策）を策定する。

[総務部]

1. 地域における公益的な取組等を適切かつ積極的に情報開示する
2. 環境に配慮した事業運営施策を検討および実行する
3. 法律理解、制度理解を深める勉強会を開催する
4. 総務業務に関するスキルアップ研修会を開催する
5. 稟議書の申請・管理業務を電子化する
6. 人事・給与システムの更新の方向性を決定する
7. 奄美地区へ企業型確定拠出年金制度を導入する
8. 企業型確定拠出年金制度への加入者率 30%を達成する
9. 両立支援施策の拡充を検討する

[人事企画部]

1. 多様な人材・必要な人材を採用する
2. 多様な人材が活躍できるよう育成を行う
3. 職員が働きやすい環境づくりと配置を実現する
4. 採用・育成に関する業務の DX を推進する

[財務部]

1. BS 経営、CF 経営の推進による事業団経営管理機能の強化
2. 経理業務の集約化・DX 推進による業務効率化
3. 経理職員の育成
4. 災害対策への取り組み

[総合情報システム部]

1. 情報セキュリティ強化とオンラインコミュニケーションツールの利用拡大
2. 情報部門に必要とされる人材の確保と育成
3. 将来の情報部門の在り方検討と人材の最適配置
4. 事業団各事業部におけるシステム導入支援
5. ICT を活用した情報基盤の整備と聖隷 DX の推進

[総合企画室]

1. 将来を見据えた事業計画・組織改革を実施する
2. 経営支援の実践を通して、支援先事業の運営を支える
3. 大規模社会福祉法人として模範となる秘書広報活動を実践する

[健康推進室]

1. 職員の安全と健康を確保
2. 重症化予防
3. メンタルヘルス推進施策の実行

[監査室]

1. 内部監査の精度を向上させる
2. 内部通報制度を充実させる
3. コンプライアンス経営に資する教育活動を実施する

[シェアードサービスセンター]

1. 労務管理のスペシャリストを育成する
2. 施設管理担当者の育成を行う
3. 業務集約の先発部署として効率化、業務標準化を行う
4. 労務業務の集約を進める
5. 施設管理業務の集約を検討する
6. 在宅・福祉関東、関西ブロックにおける施設管理業務体制を向上する
7. 労務業務を精査し、ペーパーレス化・業務効率化をさらに進める
8. 公用車の管理方法のさらなる効率化の検討をする
9. 集約化により質・生産性を向上する